# 令和８年度 ゼミのお知らせ 茨城学習センター

NEW

## テーマ『『世界を変えた分子』を読む』

鈴木（すずき） 義人（よしひと） 毎月１回金曜日 13 時 30 分～

6 月よりテーマ・概要等が変更になりました

**概　要**：Molecules that changed the world「世界を変えた分子」という本の輪読を行います。生命は端的に言って全て物質から構成されており、生命現象も物質により制御されています。それらの物質と相互作用する物質は生命現象の制御にもつながり、医薬品や農薬、栄養剤や肥料にもなります。この本で扱われているいくつかの化合物について発見や応用研究の歴史を学びます。

**計　画**：Molecules that changed the world に記載されている物質を１つずつ取り上げ、予め読んできてもらい、少しずつ交代で和訳と内容の説明をしてもらいます。構造や反応などの化学的な内容については補足説明を行います。

**メッセージ**：構造式が出てきますが、化学的な面はそう難しくはありません。むしろ英語の表現が比較的難しいため、半分は英語の勉強のつもりで参加して下さい。3 回程度で１つの物質の話が終わる予定です。

NEW

## テーマ『シルクロードから世界史を考える』

澁谷（しぶや） 浩一（こういち） 毎月１回土曜日 9 時 30 分～

**概　要**：シルクロードが通っているユーラシア大陸の中央部には、古くから様々な民族が行き交う豊かな歴史世界が存在しました。通常の世界史は、「文明」の中心であるヨーロッパや中国を中心に語られがちですが、このゼミでは、シルクロードからの視点で世界史を捉え直したいと思います。楽しく世界史を語り合いましょう。

**計　画**：このゼミでは、シルクロードが結んだユーラシア大陸の歴史に関する文献や史料を幅広く取り上げ、受講者全員で一緒に読み解きます。最初は歴史の大枠を掴みながらシルクロードの歴史を学ぶ意味を考え、その後は受講者の関心に応じてテーマを設定し、今まで触れる機会の少なかった民族や国家、或いは名前だけは聞いたことがある有名な人物などを取り上げて、理解を深めます。

**メッセージ**：積極的に文献を読み、調べ、考えた結果を持ち寄り、発表し、議論するのがゼミの学修の基本です。広く世界史に関心を持ち、疑問に感じた箇所を調べながら読むことを心がけましょう。意欲さえあれば、歴史にあまり詳しくない方も歓迎します。

NEW

## テーマ『社会をひも解く　−現代社会の課題について、背景や発生要因を考える−』

富樫（とがし） ひとみ 毎月１回土曜日 13 時 30 分～

**概　要**：社会にはさまざまな社会・福祉的課題が存在します。例えば、情報格差や孤独死などです。多くの場合、それらが発生する要因は1つではなく複数存在し、それぞれが影響し合っています。ゼミでは、これら現代社会の課題から各自の関心に基づいて研究テーマを設定し、課題の背景や当事者の心理状況などを多角的・本質的に探究します。

**計　画**：前半では、各自の研究的関心を明確化するため社会・福祉的課題などを話し合います。各回発表者を決め、関心のある社会問題や話題を提供していただき、ゼミ全体で話し合います。後半では、各自の研究的関心を明確化・具体化します。各回発表者を決め、研究的関心に関する問題意識や考察の発表とゼミ全体での討論を行います。

**メッセージ**：みなさんは、どのような社会・福祉的課題に関心をもっておられますか？　ほんのちょっとした関心であっても、その関心は知的探求の第一歩です。これまでの社会経験を活かして、現代社会の課題を探求してみましょう。

NEW

## テーマ『植物の病気を知る』

中島（なかじま） 雅己（まさみ） 毎月１回土曜日 9 時 30 分～

**概　要：** 野菜や草花も、私たち人間や動物と同じように病気になります。植物の病気にはいろいろな種類がありますが、多くは菌類や細菌、ウイルスなどの微生物が原因で起こっています。このゼミでは農作物の主要な病害を取り上げて、病徴、伝染、診断および防除についての知識を深めます。

**計　画：** 身近な野菜や草花に発生している病気について知っていただき、病気が発生するしくみから防除までを理解します。また、茨城県内で問題になっている病害について調査する予定です。

**メッセージ：** 植物の病気に関する基本的な知識を身につけて頂きたいと思っています。

## テーマ『ドイツ文法を学び、ドイツ文学を読む』

佐藤（さとう） 和夫（かずお） 毎月１回木曜日 13 時 30 分～ （8 月休講）

**概　要：** 前半は文法を中心として初級＋中級の練習問題を全員で検討します。今年度は新しい教材に取り組みます。後半は近代から現代のドイツ文学作品をやさしく書き改めたテキストを講読していきます。CEFR のレベルで B1、1,800 語程度が基礎になっています。

**計　画：** 前半は新しい文法教材に取り組みます。後半はドイツの作家、Erich Kästnerの“Drei Männer im Schneeを読みます。懸賞に当たって冬の高級リゾートホテルに泊まれることになった貧しい青年。時を同じくして泊まることになっていた大富豪と取り違えられて一騒動が、、。

**メッセージ：** 「急がず休まず」（ゲーテの言葉）歩みを進めていきましょう。

## テーマ『保健医療福祉の現代的課題』

瀧澤（たきざわ） 利行（としゆき） 毎月１回土曜日 10 時 00 分～

**概　要：** 日本は未曽有の人口減少社会に入っています。これに対応しなければならない課題は保健、医療、福祉、そして労働の広い領域におよんでいます。今年度はこれらの課題の現状と対策の方向性を考えていきたいと思います。

**計　画：** 第 1 回：日本の保健医療福祉の現状、第 2 回：現代医療の現状と課題 1、第 3 回：現代医療の現状と課題 2、第 4 回：保健活動の現状と課題 1、第 5 回：保健活動の現状と課題 2、第 6 回：社会福祉の現状と課題 1、第 7 回：社会福祉の現状と課題 2、第 8 回：労働社会の現状と課題 1、第 9 回：労働社会の現状と課題 2、第 10 回：解決への模索 1、第 11 回：解決への模索 2、第 12 回：総括

**メッセージ：** 日頃の保健医療福祉に関するデータや報道に関心をもっていただいてご参加ください。

## テーマ『技術を使って気持ちを的確に表現する歌唱』

谷川（たにがわ） 佳幸（よしゆき） 毎月１回火曜日 13 時 00 分～

**概　要：** 体が楽器、自然で無理の無い発声という言葉を理解し、西洋で発達した歌唱のための発声法を身に付けます。お腹から声を出すとは、響きで歌うとは、そして気持ちを込めて歌うとはどういうことなのか。そのためには何に注意し、どこをどう使って声を出すのか、漠然とではなく１つずつの技術を確実に自分のものとしていきます。

**計　画：** 毎回の流れとしては、発声、練習曲、歌曲などを休憩をはさみながら全員で歌っていきます。イタリア語の歌から始めますが、なぜイタリア語なのかも理解した上で、１年の後半には日本語歌唱に発展していくことを目指します。楽譜は学生の進度に合わせてこちらで用意配布します。

**メッセージ：** 実技は知ったところがスタート地点です。分かったからといって出来るものでないのは当然で、直ぐに出来ないからと気にする必要はありません。確実に身に着けるための継続練習こそが大切です。皆で楽しく声を出し続けましょう。

## テーマ『近世の史料や古文書を読む』

**千葉（ちば） 真由美（まゆみ） 毎月１回木曜日 9 時 30 分～**

**概　要**：江戸時代の村や町の史料を読みながら、当時の社会を学んでいきます。人々の努力や意識を史料に書かれた語句や文章から丁寧に読み解き、またそれぞれが調べた内容を持ち寄って知識を深めたいと思います。

**計　画**：茨城県内にあった村や町を対象に、すでに活字として刊行されている史料の講読から始めます。くずし字の解読も初心者向けの古文書から始めていく予定です。

**メッセージ**：くずし字にも挑戦して、古文書解読を進めます。難しいと思うかもしれませんが、悩みながらも楽しんで学んでいきましょう。

## テーマ『地域でいつまでもその人らしく生活するために必要なこと』

**前田（まえだ） 和子（かずこ） 毎月１回土曜日 9 時 30 分～**

**概　要**：地域包括ケアシステムが推進されている今、従来の病者中心ではなく、人々が地域で生活・療養することを基盤に据えた看護・介護がますます注目されています。住み慣れた地域でその人らしい暮らしを生きるために必要な身近な話題を考えていきます。

**計　画**：ゼミ生に興味がある話題を提供してもらったり、希望があったテーマについて講師が解説を行ったりします。それをもとにディスカッションにより様々な意見を共有し、理解を深める場としていきます。

**メッセージ**：年齢もまちまちで、堅苦しくない気軽な雰囲気でゼミを行っています。「語らう場」として、まずはお試しからでも結構です。皆様のご参加をお待ちしております。

## テーマ『動物行動研究から探るヒトのこころの世界』

**山田（やまだ） 一夫（かずお） 毎月１回土曜日 9 時 30 分～**

**概　要**：動物心理学や行動神経科学に関する研究論文を購読し、ヒトと動物のこころの共通性や違いについて学び、ヒトのこころの本質について議論します。また、動物を対象とした実験心理学的研究について、その手法や最近の知見について紹介します。

**計　画**：受講生の興味に合わせた研究論文を検索し、各ゼミでは担当者による論文内容に関する発表と教員による解説、そして全員による議論を行います。

**メッセージ**：ペットであるイヌやネコに「こころ」があると思う人は多いと思いますが、では害虫であるゴキブリや蚊に「こころ」はあると思いますか？動物とヒトの行動における共通性と違いについて学んでいくことで、「人間とは何なのか」について考えてみましょう。

## 毎月のゼミ日程　は茨城学習センターのホームページに掲載しております。

**日程は変更となる場合がありますのでご注意ください。**

**＊茨城学習センターホームページ：https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/**

**＊ゼミ申込に関するお問合せ先　：　029-228-0683（放送大学茨城学習センター）**

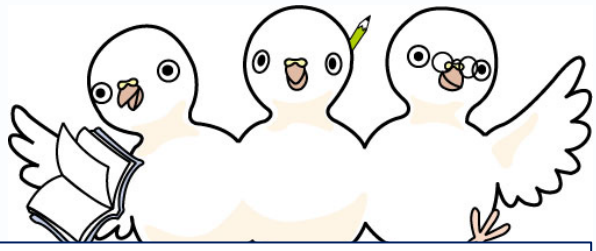
## 【ゼミ参加について】

・ゼミは単位の修得や卒業要件にはなりませんが、双方向性が高く、相互啓発できる学習形態です。

・茨城学習センター所属であり在籍中（卒業生は不可）であればどなたでも無料でご参加いただけます。

・ゼミは年度ごとにお申込みが必要です（自動更新はございません）。

・ご参加を希望する際は、下記『令和８年度 ゼミ申込書』を２階受付窓口へご提出してください。また、体験参加をご希望する場合はご相談ください。



令和8年度

# ゼ　ミ　申　込　書

| | |
|---|---|
| 希望ゼミ講師 | ・佐藤ゼミ　・鈴木ゼミ　・澁谷ゼミ　・瀧澤ゼミ<br>・谷川ゼミ　・千葉ゼミ　・富樫ゼミ　・中島ゼミ<br>・前田ゼミ　・山田ゼミ<br>※ご希望のゼミ担当講師に〇を付してください。 |
| 学　生　番　号 | |
| フ　リ　ガ　ナ<br>氏　　名 | |
| 電　話　番　号 | （急な変更時等に職員や講師または代表学生よりご連絡する場合があります。） |
| E-Mail | （急な変更時等に職員や講師または代表学生よりご連絡する場合があります。） |

※年度ごとに申請をお願いします　　（受付日：令和　　年　　月　　日）